

生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～

(令和6年度事業)



令和8年3月
庄原市教育委員会
(生涯学習課)

はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興区において実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

目次

各施設実践事例書

庄原地域

庄原自治振興区	【まちづくり交流フェスタ】	1
高自治振興区	【子供・大人絵手紙教室】	2
本村自治振興区	【本村郷土史くらぶ】	3
峰田自治振興区	【DVD製作】	4
敷信自治振興区	【スポーツ吹矢大会】	5
東自治振興区	【エイサー活動事業】	6
山内自治振興区	【小原流生花教室】	7
北自治振興区	【水辺教室（水生生物観察会）】	8

西城地域

西城自治振興区	【ダンボのクリスマス会】	9
八銚自治振興区	【2024 やほこフェスタ】	10

東城地域

東城自治振興区	【ウーマンカレッジ】	11
小奴可の里自治振興区	【スマホ教室】	12
八幡自治振興区	【しめ飾りづくり教室】	13
田森自治振興区	【社会体験交流事業】	14
帝釈自治振興区	【パソコン教室】	15
久代自治振興区	【子育てサロン事業】	16
新坂自治振興区	【新坂自治振興区まつり】	17

口和地域

口和自治振興区	【写経体験教室】	18
---------	----------	----

高野地域

上高自治振興区	【手芸教室】	19
下高自治振興区	【シモタカフェ「クリスマス会」】	20

比和地域

比和自治振興区	【比和まるごと家族 比和地域の支え合いづくりの集い】	21
---------	----------------------------	----

総領地域

総領自治振興区	【伝統食伝承教室】	22
---------	-----------	----

自治振興区連絡先一覧		23
------------	--	----

事業名	事業テーマ
まちづくり交流フェスタ	生涯学習の成果の発表と交流
事業費	
342,209円（ 事業費の内訳：需用費 190,209円、活動助成金 152,000円）	
事業の概要	
庄原自治振興センターを生涯学習の活動の場として、多くの機関団体・サークル等が活用され、その内、庄原自治振興区に所属されている団体が、1年間の活動の成果を展示・ステージ発表等を通じて、地域内の皆さんに発表し、区民及び一般参加者の交流を図る。	
事業の目的	
日常の生涯学習活動の発表の機会を通して、地域内のより多くの皆さんとの交流を深める。	
対象者	参加人数
区民及び一般参加者	延べ500人参加
開催期間	実施回数
11月3日（日）9時30分～15時	年1回（11月第1日曜日）
事業の内容	
<p>（作品展示）生花・手芸・写真・洋裁・書道・料理・諸団体・自治会の活動報告パネル・主催事業のパネル （ステージ発表）コーラス・フォークダンス・フラダンス・タヒチアンダンス・ウクレレ演奏・大正琴 （地産地消） 地元製品の加工品販売・トラック市場・キッチンカー （その他） お茶席・子ども対象の手芸教室・子ども広場・バザー・綿菓子提供等</p>	
特徴的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の作品展示、歌・ダンス・演奏等のステージ発表、賑わい広場 	
成果・課題等	
<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興センターを活動の場として様々な分野の生涯学習活動を行っている皆さんの、発表の場を提供し17回を重ね、活動への意欲の醸成につながり定着してきている。 ・発表する各種団体は、個々に講師の指導を通して年々技術の向上に繋がり、展示作品・ステージ発表の内容が充実向上している。 ・新型コロナウイルスも一定落ち着きを見せている中、今回からタイトルを「活動報告作品展」から「まちづくり交流フェスタ」に変更し、多くの区民により親しみやすいものにリニューアルした。 ・子どもたちの参加を促すため、屋外の芝生広場に子供広場を設定し遊具や体験コーナーを通して交流した。 ・発表の機会があることの日常活動への意欲の向上が醸成され、団体内の交流が図られ心身両面の健康増進につながっている。 	
写真	

事業名		事業テーマ	
子供・大人絵手紙教室		技能向上や社会参加	
事業費			
93,500円（事業費の内訳：報償費 87,500円・需用費 6,000円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供絵手紙教室は毎月第1土曜日9時半から実施。年度途中から人数増の為月2回実施 ・大人絵手紙教室は毎月第2水曜日13時半から実施 ・庄原市教育委員会と文化協会が主催している「庄原絵手紙大賞」に参加や高地区ふるさと祭に展示している 			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供は絵手紙を描くことで、絵の技術の向上や、言葉選びを学ぶ。季節のものを描くことによって季節に触れることができる。集中することで集中力が身につく ・大人は主に社会参加を目的としている 			
対象者		参加人数	
高地区の住民小学生～大人		延204人	
開催期間		実施回数	
4月6日（土曜日）～ 3月8日（曜日）		33回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜や花等を持参し、はがきサイズの紙に絵を描く。絵が描けたら贈る相手に届けたい言葉を書く ・大人絵手紙教室では絵手紙教室の後、生徒同士の交流会も実施している ・毎年「絵手紙大賞」に応募し、沢山の生徒が入賞している 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・子供絵手紙教室ではでき上がった絵手紙を自治振興センター内に展示している ・大人絵手紙教室ではでき上がった絵手紙を高郵便局に展示している 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・どちらの教室も技術が向上している ・子供絵手紙教室は年々生徒数が増えている ・大人絵手紙教室は少数ではあるが、交流会を実施する等で楽しんで行っている 			
写真			
			

事業名	事業テーマ
本村郷土史くらぶ	本村・庄原の郷土史を学ぶ

事業費

25,270 円（事業費の内訳：需用費 13,250 円・コピー代 12,020 円）

事業の概要

- ・毎月1回（第2月曜日）にて講師の先生が作成される手書き資料を基に勉強会をしている。
- ・タイミングが合えば、近隣の資料館や博物館へ行き文献を広める活動もしている。

事業の目的

- ・自分たちが暮らす場所の歴史、文化などを楽しく学び、地域への理解を深める。
- ・昔からの伝統、事業の意味を学び後世へ残す。

対象者

本村・上谷を中心に関心のある地域の方

参加人数

58人

開催期間

4月8日（月曜日）～ 3月10日（月曜日）

実施回数

11回

事業の内容

- ・庄原、本村、上谷の歴史、風習などを掘り起こし学習を深める。
- ・講師の先生による手づくり資料を会員全員で製本し資料集として後世へ残す作業も行われている。
- ・小学校からの依頼にて、児童に地域の歴史を教え一緒に学ぶ場を設けるなど社会学習にも参加。
- ・近隣の資料館や歴史博物館などへ行き、見聞を深める活動も行われている。

特徴的な内容

- ・使われる資料は全て講師の先生のお手製によるもの。とても丁寧に綺麗な文字は読みやすく親しみやすいので会員さんより大人気です。
- ・次回使用する資料については、会員の知りたいことや教えてほしいことなど多岐に渡って講師の先生が調べてくださるので、決まったテーマはなく自由に決められる事が皆さん楽しみのようです。

成果・課題等



- ・参加される方からは同じ歴史でも回を重ねるごとにいろいろな知識、見聞を広めることができ毎回楽しい、郷土の生活や祖先の生きた足跡を探し学ぶことによって地域への理解が深まったという声が寄せられました。
- ・歴史が単なる知識ではなく事実として感じられることで興味が深まった。
- ・制作した資料はセンターへも寄贈くださり、地域の方への貸出も可となりました。広報誌で宣伝したことで借りに来てくださり活動・学習内容が地域へも広がっています。
- ・年々会員数が減少し寂しくなっているので新たな会員を迎えることが課題。

写真

教室の雰囲気と手作りの資料

講師の先生が子供時代に使われていた教科書。大切に保管された資料として持参してくださいました。



事業名		事業テーマ																			
DVD製作		第2弾「昭和に生きた人々」																			
事業費																					
18,354円（事業費の内訳：需用費18,354円）																					
事業の概要																					
<ul style="list-style-type: none"> ・第1弾「四季の思い出」の制作経験を生かし、第2弾「昭和に生きた人々」令和7年で、昭和100年を迎えるにあたり峰田の歴史を思い出し、振り返っていただき、次の100年に継続 ・地域の歴史を映像として残す 																					
事業の目的																					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史を映像として残し次の100年に継続 																					
対象者		参加人数																			
編集スタッフ11名		30人																			
開催期間		実施回数																			
画像募集から2年間		随時実施																			
事業の内容																					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史を映像に残すため、古い写真を区内の方より提供を受け、峰田の風景や文化、歴史を感じられるDVDの作成 																					
特徴的な内容																					
<ul style="list-style-type: none"> ・昔の貴重な写真を探し、提供していただき、昭和100年を振り返れた。 																					
成果・課題等																					
<ul style="list-style-type: none"> ・「ほほえみサロン」でたくさんの方に鑑賞していただき、『昔話し』や『懐かしいね』とかたくさん感想を頂き、好評でした。 また第3弾につながればいいと思います。 																					
写真																					
 <p>ふるさとDVD上映会場</p> <p>DVD上映時間</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>10:30～10:50</td></tr> <tr><td>2</td><td>11:00～11:20</td></tr> <tr><td>3</td><td>11:30～11:50</td></tr> <tr><td>4</td><td>12:00～12:20</td></tr> <tr><td>5</td><td>12:30～12:50</td></tr> <tr><td>6</td><td>13:00～13:20</td></tr> <tr><td>7</td><td>13:30～13:50</td></tr> <tr><td>8</td><td>14:00～14:20</td></tr> <tr><td>9</td><td>14:30～14:50</td></tr> </table> <p>ふるさと DVD 第2弾 昭和100年記念</p> <p>昭和を生きた人々</p> <p>峰田の昭和、映像制作</p> <p>2025/02/21</p>		1	10:30～10:50	2	11:00～11:20	3	11:30～11:50	4	12:00～12:20	5	12:30～12:50	6	13:00～13:20	7	13:30～13:50	8	14:00～14:20	9	14:30～14:50	 <p>DVD上映会場の様子。多くの人々が椅子に座り、スクリーンで映像を鑑賞している。</p>	
1	10:30～10:50																				
2	11:00～11:20																				
3	11:30～11:50																				
4	12:00～12:20																				
5	12:30～12:50																				
6	13:00～13:20																				
7	13:30～13:50																				
8	14:00～14:20																				
9	14:30～14:50																				

事業名		事業テーマ	
スポーツ吹矢大会		スポーツ吹矢を通じて健康でいよう	
事業費			
30,000 円（事業費の内訳：報償費 25,000 円・需用費 5,000 円）			
事業の概要			
・振興区とスポーツ吹矢同好会主催のスポーツ吹矢大会の開催			
事業の目的			
・ニュースポーツに体験と健康増進			
対象者		参加人数	
区民		50人	
開催期間		実施回数	
9月29日（日曜日）		1回	
事業の内容			
・各チーム（自治会）3名一組でスポーツ吹矢を競う。 団体戦と個人戦により上位3名（3団体）（男子の部は5名）の表彰を行う。			
特徴的な内容			
・11回目の開催として地域に浸透してきている。 スポーツ吹矢は肺を強くするとされていて健康的である。			
成果・課題等			
・今後も引き続き継続していく予定である。 参加者は若い人も多く、楽しめているが、参加者が固定化している。			
写真			
			

事業名		事業テーマ	
エイサー活動事業		世代間交流	
事業費			
21,064円（事業費の内訳：報償費 10,000円・需用費 11,064円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・7月～8月の木曜日に振興センターでエイサー踊りの練習を行う。 ・「東自治振興区」として、よいところ祭りのパレードに参加する。 			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・エイサー踊りを通して子どもから高齢者まで地域の繋がりをつくる。 ・多世代で東自治振興区の魅力・元気を発信し、世代間交流や絆づくりの場を目的とする。 			
対象者		参加人数	
東地区住民		60人	
開催期間		実施回数	
7月25日（木曜日）～ 8月24日（土曜日）		5回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・7月から8月の木曜日 19：30～20：30に振興センターに集まり、4回の練習を行う。 ・第42回よいところ祭りパレードへ参加し、東地区の魅力や元気を発信する。 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・振興区として唯一の参加、地域の繋がりを広げることができた。 ・全員でサージという布を頭に巻くのが特徴的で、東自治振興区のTシャツを着てパーランクー（太鼓）を叩きながら踊り、ピンクの幟が目を引きまします。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生、子育て世代、高齢者がたくさん参加し、一緒に踊ることで世代間交流が図れ、絆を深めることができた。これからもよいところ祭りパレードへ参加していくことで東地区民の絆を深めていきたい。 ・「また来年も参加したい」との声をいただいたが、新たな参加者を増やしていくことも課題である。 			
写真			

事業名	事業テーマ
小原流生花教室	暮らしを彩る生花

事業費

40,000円（事業費の内訳：報償費20,000円・需用費20,000円）

事業の概要

- ・家庭の玄関・行事など、生活に根ざした花の楽しみ方を学ぶ
- ・実用性が高く、参加者の満足度も上がりやすい

事業の目的

・地域住民が季節の花に親しみ、日常生活の中で花を楽しむ技術を身につけることを目的として、生花教室を開催するものです。玄関・居間など、家庭のさまざまな場面に合わせた実用的ないけばなを学び、暮らしに彩りを添える機会を提供します。また、講師が制作した作品は自治振興センター玄関にも飾り、来館者が季節の花を楽しむ空間づくりにも活かしています。初心者から経験者まで地域の交流の場としても役立つ事業です。

対象者

地域住民のみなさん

参加人数

78人

開催期間

通年（月に1回）

実施回数

18回

事業の内容

【生活文化の向上】 季節の花を取り入れた飾り方を学び、家庭内の文化的な豊かさを育む。

【地域交流の促進】 花を通じた学びと対話により、世代を超えた住民同士のつながりを深める。

【実用的な技術習得】 年中行事や日常の場面で活かせるいけばなの基礎を身につけ、参加者の満足度を高める。

【地域の魅力づくり】 自治振興センター玄関に生花を飾ることで、来館者に季節感と温かみを感じてもらい、地域全体の雰囲気づくりや文化活動の活性化につなげている。また、時には珍しい花も展示することで、来館者の関心を引き、足を止めて楽しんでいただく機会にもなっている。

特徴的な内容

講師が制作した作品を自治振興センター玄関に展示し、来館者を季節の香りで迎える“地域の花のギャラリー”として活用しています。花をいける人だけでなく、訪れる人にも季節の移ろいを感じてもらえる点が、本事業の大きな特徴です。花を通じて住民同士が自然に交流できる温かい場となっています。

成果・課題等

【成果】 季節の花を楽しむ機会が広がり、玄関展示も好評で地域の雰囲気づくりに役立っている。

【課題】 参加者が少なく、より多くの住民に関心を持ってもらうための周知や参加しやすい環境づくりができるように工夫したい。

写真

事業名	事業テーマ
水辺教室（水生生物観察会）	環境学習

事業費

25,000 円（事業費の内訳：報償費 25,000 円）

事業の概要

・私たちの身近な水辺（河川）の生き物を親子や地域の人たちと一緒に観察することを通して、川に親しみ、川を理解し、川をよくする「環境をよくする」ことを学ぶ。
川北川で採取した生き物を北自治振興センターへ持ち帰り、観察と分類をして、水質の判定を行う。

事業の目的

・川北川で採取した生き物の観察と分類をして、水質の判定を行う。

対象者

小学生児童と親子

参加人数

37 人

開催期間

8 月 3 日（土曜日）

実施回数

1 回

事業の内容

・河川にはいろいろな生き物が住んでいます。これらの生き物は、川やその周りの環境と深い関係を持っており、私たちの身近な水辺（河川）の生き物を親子や地域の人たちと一緒に観察することを通して、川に親しみ、川を理解し、川をよくする「環境をよくする」ことを学ぶ。
川北川で採取した生き物を北自治振興センターへ持ち帰り、観察と分類をして、水質の判定を行う。
判定結果は、きれいな川でした。
持ち帰った生き物は、川北川へ返しました。
今回で 16 回目となる。

特徴的な内容

- ・今回で 16 回目となる。
- ・川と親しむ機会が少なくなっている、毎年楽しみにしている児童もあり、今後も継続していく。

成果・課題等

- ・夏休み期間中の事業であり、また、川と親しむ機会が少なくなっている、毎年楽しみにしている児童もあり、今後も継続していく。
- ・児童が川に入っている様子やきれいな川であることを地域住民が見ることにより、環境への関心を持ってきている。

写真

事業名	事業テーマ
ダンボのクリスマス会	どきどきわくわく・クリスマスにだれとあえるかな！

事業費

20,440円（事業費の内訳：報償費20,000円・需用費440円）

事業の概要

- ・年間6回予定している読み聞かせ定例会の中での特別クリスマスイベント

事業の目的

- ・クリスマスイベントとして、外部の活動家を招待して子どもたちの視野を広める。

対象者

幼児・小学生

参加人数

21人

開催期間

12月21日（土曜日）

実施回数

1回

事業の内容

- ・おはなし会ダンボによる紙芝居3点（ぞうのはな・へんしんおんせん・サンタさんに会いたい）
- ・バンド「エプロン」さんの演奏

特徴的な内容

- ・毎年外部より、演奏や踊り、読み聞かせなど地域で活動されている方々を招待している。

成果・課題等

成果：普段読み聞かせしかできないので、とても喜んでもらえる。

課題：参加者を集めること。

どんな方を招待するか毎年悩む。

写真

事業名		事業テーマ	
2024 やほこフェスタ		各教室等の作品出展、地域活性化	
事業費			
702,344円（事業費の内訳：報償費 217,362円・消耗品費 372,134円・交通費 28,000円・食糧費 53,284円・通信運搬費 12,095円・燃料費 13,969円・借上料 5,500円）			
事業の概要			
・地域内外の方と交流し、地域を活性化させる。			
事業の目的			
・生涯学習の自主運営教室の成果発表や地域の方の野菜販売をすることによる高齢者等のいきがづくり。			
対象者		参加人数	
一般・男性・女性・高齢者・青少年・児童		600人	
開催期間		実施回数	
11月4日（月曜日）		1回	
事業の内容			
・生涯学習自主運営教室の展示やステージ発表、鉄道グッズ展示、地域の方が育てた野菜の販売、キッチンカーやマルシェ、ヒバゴン仮装コンテスト			
特徴的な内容			
・地域の方が育てた野菜販売や地域内外どなたでも参加できるヒバゴンの仮装コンテスト。			
成果・課題等			
・ヒバゴン仮装コンテストも開催し、地域内外の方を呼び込むことが出来、大いに賑わった。今後も継続していきたい。			
写真			
			
			

事業名	事業テーマ
ウーマンカレッジ	マイナンバーカードとその役割

事業費

0円

事業の概要 委託事業項目番号 2（現代的課題解決のための事業実施）

・デジタル庁より令和6年12月2日より新規の健康保険証は現行のものでは発行せずにマイナンバーカードが保険証としての機能を持つとの発表がありました。
ウーマンカレッジではカードは持っているが「保険証としての機能とは？」との声が上がリ東城支所総務課へ講演依頼を致しました。支所より「それでは本庁の出前講座が良いのでは。」ご紹介頂き企画課より主任主事 澤江様、主事 辻様にお越し頂き、ご指導頂きました。

事業の目的

・平均70歳以上の女性グループ「ウーマンカレッジ」ではありますが、世の中がどんどんデジタル化されて行く中で「ついていけない」「私では出来ない」とばかりでは済まされない状況になってきています。その手始めに一番身近な「健康保険証」としての機能を持つマイナカードについて学びます。

対象者

高齢 女性

参加人数

25人

開催期間

9月9日（日曜日）

実施回数

1回

事業の内容

・平均70歳以上の女性グループ「ウーマンカレッジ」ではありますが、世の中がどんどんデジタル化されて行く中で「ついていけない」「私では出来ない」とばかりでは済まされない状況になってきています。その手始めに一番身近な「健康保険証」としての機能を持つマイナカードについて学びます。

特徴的な内容

・高齢化が加速する中、ウーマンカレッジの活動だけでなく、外部の方からのお話を直接お聞きする事の大切さを改めて知る機会となりました。疑問に感じている事をどこに誰にお聞きすれば良いか？そんな事からのスタートから始まる講座。また違う形でも必要だと思います。

成果・課題等

東城自治振興区のウーマンカレッジは月2回の行事を行っています。講演会やレクリエーションと幅広いバリエーションでの活動です。今回の事業も、発案から講師の方の依頼、調整、実行と進めてきました。実際のご講演の後、多くの疑問点が参加者から上がり質問させて頂き、ご返答も頂き、充実した回であった様に思います。

写真

事業名	事業テーマ
スマホ教室	知識・技術を身につけるための諸事業・の実施
事業費	
事業費の内訳：報償費 0 円	
事業の概要	
<p>・「楽しく安全にスマホを使おう」を合い言葉に全3回の開催。3G回線の廃止がという宣伝でスマホに乗り換えたが、うまく使えないという方向け。基本操作をじっくりと自作テキストで説明し、実機の操作を交えながらゆっくりとした体験教室にした。</p>	
事業の目的	
<p>・スマートフォンを安全に楽しく使えるようになる。</p>	
対象者	参加人数
地域住民のみなさん	延べ9人（3回×3人）
開催期間	実施回数
3月5日（水曜日）～3月19日（水曜日）	3回（毎週水曜日×3回）
事業の内容	
<p>・スマートフォンを安全に楽しく使いたいという要望に応じて開催した。3G回線の廃止により、従来の携帯電話から乗り換えたものの、テンキーなどの物理ボタンが実装されないという不自由さ。気づかないうちに画面が遷移してしまう苦々しさ。それぞれの悩みに親身に答えるというシンプルな繰り返しもあった。遠くのショップより、近くて便利な振興区という基本路線はキープできた。</p>	
特徴的な内容	
<p>・見知らぬ人からのメッセージには乗らないことは、SNSの危険性から身を守る一歩。アカウント、パスワードを失念すれば、だれも助けてくれない。スマートフォンの利便性と危険性は表裏一体で冷徹。現代のこのインフラが隠し持つ特徴的な自己責任完結という厳格な仕組みも一応お伝えできた。</p>	
成果・課題等	
<p>・この教室を含め、スマホ、パソコン周りの困りごとには、なるべく解決のお手伝いができるように努めているが一人ではきつい。スマートフォンのほかに、Windows11はどこに売っているのか、どこに付ければいいのかという問い合わせもしばしば受けていた。「アップグレードできたとしても、この仕様では使い物にならんでしょう」という現実をストレートにお伝えするのは、ご本人の投資額、思い出の数々を尊重すると、たいへんに心苦しいと感じた。一方で詐欺サイトへ誘導されて被害を被った方からのご相談もあったが、表面化は一部ではないだろうか。また、スマートフォンの中身はパソコンであることを忘れてはいけない。</p>	
写真	
なし	

事業名		事業テーマ	
しめ飾りづくり教室		知識・技術を習得する講座	
事業費			
20,000円（事業費の内訳：報償費 15,000円・需用費 5,000円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなしめ飾りの種類、作り方を習う。 ・講師オリジナル「八幡飾り」を作ってみる。 ・年越し用に自宅へ飾るしめ飾りを作る。 			
事業の目的			
・地域で行われなくなりつつある年末の伝統行事「しめ飾りづくり」の講習、製作体験を行うことで、風習の意味や飾りを作る技術を習得、継承していく。			
対象者		参加人数	
一般		10人	
開催期間		実施回数	
12月24日（火曜日）		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・飾りづくりでよく使う基本の結び方を習う。 ・しめ飾りの種類、用意する材料、作り方について講習。 ・講師考案「八幡飾り」の説明、作り方を習い、製作してみる。 ・参加者各自で、自宅に飾る用のしめ飾りを作る。 ・講座で使用するワラは、事務局で田植え、刈取りして準備したものを使用（栽培は住民の協力による） 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・講師考案のしめ飾りが地域に少しでも普及すれば、八幡の独自性が発揮される。 ・講師の計らいにより、しめ飾りづくりのマニュアルが配布された。次年度以降も使えるいい手本となる。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅に飾るしめ飾りを自ら作ることで、伝統行事の良さを理解できた。 ・一見作るのが難しそうでも実践してみることで、誰でも市販品に負けないものが作れた。 ・材料の都合もあり、こじんまりとした講座となった。 ・当初、放課後子供教室の子供たちにも作ってもらう予定だったが、時間の関係で実施できなかった。 			
写真			
   			

事業名	事業テーマ
社会体験交流事業	法恩寺住職講演会「時はもどせない」
事業費 27,712円（事業費の内訳：報償費10,000円・需用費12,712円・旅費5,000円）	
事業の概要 田森自治振興区女性部が企画、主催して開催する「法恩寺住職講演会」。 お寺の住職から「心が癒される話や、ありがたい話を聞きたい。」ということでご講演いただく。 また、講演を聞いて地域づくりへも繋げていく。	
事業の目的 新春を迎え、住職からありがたい講演を聞き、生活の充実・向上につなげることを目的とする。	
対象者 田森地区民 他	参加人数 43人
開催期間 令和7年1月24日（金曜日）	実施回数 1回【所要時間：120分】
事業の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・第一部 「時はもどせない」 講題に講演 ・第二部 質疑応答、交流会 	
特徴的な内容 法恩寺住職講演会「時はもどせない」	
成果・課題等 女性部主催による事業であるが、田森地域外からおおくの来場者があった。 講演後のアンケートから、「大変参考になりこれからは大切に！未来を考えて生きたい。」などの声や「普段聞くことができない、仏壇やお墓のこと色々参考になり先祖供養をしていきたい。」など、高評価をいただいた。 また、来場者が希望する講演などの実施内容を検討し、住民の意見反映、参加意欲の増進につなげたい。	
写真 	

事業名		事業テーマ	
パソコン教室		パソコンの基本操作を学ぶ	
事業費			
0円			
事業の概要			
・パソコンの基本操作から応用まで学ぶ			
事業の目的			
・近年は、文書は活字だけで手書きの文章は恥ずかしいと言われる方がいる。パソコンを使いこなせるようになりたいという希望に応える。			
対象者		参加人数	
一般		延べ60人	
開催期間		実施回数	
月1回～2回（木曜日）実施		15回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・各自のパソコンを持参してもらい、ワードの仕組みやエクセルの仕組みの基本を学ぶ ・写真や画像の取り込みかたを学ぶ ・普段のわからないことを解決する 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数なので、各人に合わせた指導をしている ・スマホ教室をはじめた 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・各人のレベルが違うので、テキスト作りに悩む ・スマホ教室をしてほしいという要望があった ・スマホ教室は、機種によって操作が違うので難しい 			
写真			
			

事業名	事業テーマ
子育てサロン事業	久代であそぼ！

事業費

27,330円（事業費の内訳：報償費（講師謝礼）7,000円・需用費（消耗品費）20,330円）

事業の概要

・昨今の子育て環境の変化等から、子育てをする保護者等の孤立感が高まることから、地域や保護者同士のネットワークづくりの重要性が一層増している。

そのため、未就学児とその家族を対象とした子育てサロンを月一回毎月第3土曜日（変動有り）に開催する。

事業の目的

・家庭内だけでなく、同じ世代の子を持つ保護者同士などで関わりを持つことで、子育て世代の負担となっている課題等を発見し支援するとともに、地域や保護者同士のネットワークづくりを進める。

対象者

未就学児とその家族

参加人数

延べ 104人

開催期間

4月20日（土曜日）～3月15日（土曜日）

実施回数

7回

事業の内容

- ・4月20日「外でのびのびあそぼ！」
- ・9月28日「足形アートをしよう！」
- ・10月19日「コースターを作ろう！」
- ・11月16日「ヘッドマッサージでリラックスしよう！」
- ・1月25日「ふあふあ遊具であそぼ！」
- ・3月15日「フラワーアート」

特徴的な内容

・11月16日「ヘッドマッサージでリラックスしよう！」では、西城町でリラクゼーションサロンを運営されている坂野愛弓さんにお越しいただき、子ども達は遊びながら、ママさんへの簡単なヘッドマッサージを行った。

成果・課題等

・来ていただいた方からは、「子どもが楽しそうでよかった。」「来て、お話しできてよかった。」「製作が楽しかった。」などの声をいただいている。

・課題としては、毎月のように来ていただける方がいる一方で、来ていただける方が固定化しつつあり、新たな参加者を増やす取り組みを行う必要がある。

写真

事業名		事業テーマ	
新坂自治振興区まつり		生涯学習の成果発表と敬老会	
事業費			
263,893円〔需用費(消耗品費・食糧費・景品)199,883円・使用料及び賃借料(音響機器・車借上げ)18,080円・役員費(通信運搬費)5,170円・報償費(謝礼)40,760円〕			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・普段から活動されているグループの芸能や手芸など生涯学習の発表の場を提供すると共に、参加型事業として自家栽培の野菜を使ったイベント及びゲームやカラオケなどにより、楽しいひと時を過ごしてもらう。 併せて、75歳以上の地域住民を無料招待して敬老会を行う。 			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流と親睦を図るとともに、地域を挙げて敬老のお祝いを行う。 			
対象者		参加人数	
地域住民		33人	
開催期間		実施回数	
12月1日（日曜日）		1回 【所要時間：3時間】	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上の高齢者を対象に敬老会（記念品贈呈）を行う ・大正琴や絵手紙教室等の生涯学習活動の発表の場を提供する ・野菜づくり教室をはじめ多くの世帯で作られている野菜を用いたイベントを行う ・高齢者を対象としたゲームを実施する 			
特徴的な内容			
<p>来場者参加型の祭りとなるような内容にしており、特に野菜を用いたイベントは特徴的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家製野菜を用いたイベントとして、今回は、集まった大根・白菜の中で1番重たいものを展示して、重量当てクイズを実施した。大きな冬瓜も1個出品されたためそれもクイズの対象とした。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも参加人数の増加と幅広い親睦が図れることを期待したが、野菜の出品者が思ったより多くなく、子どもも都合でほとんど参加がなく、大きい事業としては参加人数が少ない結果となった。イベント内容を更に検討する必要がある。 			
写真			

事業名	事業テーマ
写経体験教室	人材育成と学びによる地域交流

事業費

16,100円（事業費の内訳：報償費（講師謝金）5,100円 需用費（教材代）11,000円）

事業の概要

- ・写経の目的、魅力、書き方、保管方法等を専門家から説明していただき、実際に写経を体験する教室

事業の目的

- ・地域の人材育成と学びによる地域交流

対象者

- ・住民

参加人数

11人

開催期間

1月26日（日）

実施回数

1回

事業の内容

- ・講師が写経の目的、魅力や基本的な書き方や手順、保管方法等を説明した後、参加者は写経に取り組んだ。
- ・講師の説明：30時間 写経した時間：1時間
- ・講師が、必要物品や説明資料を準備された。

特徴的な内容

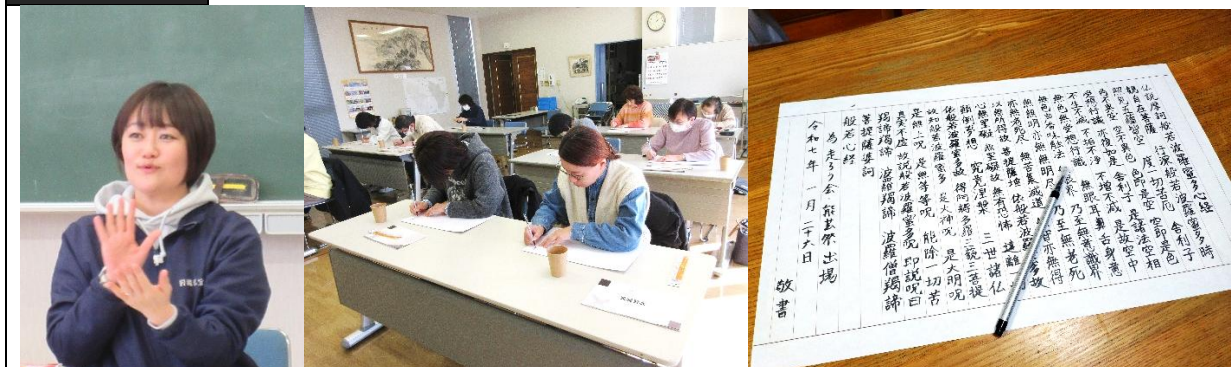
- ・地域の方から、講師を紹介していただき、参加の声掛けも協力いただいたので幅広い世代の方に参加いただいた。
- ・昨年、開催した様子を講師、スタッフで共有しながらおこなった。
- ・事業終了後に、アンケートを実施した。

成果・課題等**成果**

- ・講師の説明がわかりやすく、写経体験教室を通じて、地域の絆を深めながら、伝統文化の豊かさを改めて実感する機会となった。
- ・講座終了後は、参加者同士が感想を伝えあい、地域交流ができた。
- ・振興区主催の教室への参加率が低い、男性や若い世代の参加も多かった。

感想

- ・初めての経験だったが、講師の話が分かりやすく堅苦しくなく挑戦できた。
- ・集中して自分だけのぜいたくな時間を過ごせた。
- ・次回の開催が楽しみ。年に数回開催してほしい。

写真

事業名	事業テーマ
手芸教室	ペットボトルの蓋の再利用をした コースターづくり

事業費

6,122円【需用費：消耗品 6,122円】

事業の概要

- ・毎年、冬期間に2回～3回の手芸教室を開催し、地域住民の交流を図っている。
今期第1回は、あまり布とペットボトルの蓋を再利用したコースターづくりを行った。
比和町「ゆめの家」から講師を招き開催

事業の目的

- ・地域住民の交流を目的として、身近なものを再利用した手芸教室を開催

対象者

地域住民

参加人数

14人

開催期間

1月22日（水曜日）

実施回数

1回【1回当たり所要時間：120分】

事業の内容

- ・会場では、ミシンをつかうことができないため、手軽にできる内容の手芸作成を計画。今回は、比和町の「ゆめの家」で作成されている手芸を紹介していただき、リサイクルを意識した手芸作品作り。

特徴的な内容

- ・身近にあるあまり布やペットボトルの蓋を活用し、廃材が手をかけることで、かわいらしいコースターや花瓶敷などに変化し、生活の中で活用できるものが作成できた。

成果・課題等

・冬期間出かける機会が少ないため、外出の機会を作り、広く呼び掛けることで、日ごろ出会わない人との交流の機会となった。また、手先の作業であるため、頭の体操指先訓練、おしゃべり等認知症予防にも通じる。参加者の皆様からは、何ができるのかなと思ったら、可愛いコースターができた。簡単にちょっとした時間でできることだとやりやすいと思う。まだ、自分の手が動いてくれることに感動した。おしゃべりができ楽しかったなどの声が聞かれた。今後、手袋やソックスで縫いぐるみを作りたいペットの蓋でブローチづくりもいいのかもと次への希望もたくさん出てきた。ミシンを数台設置すれば、作品の広がりもあるが、むずかしく、手作業での作品作りできることの工夫をする必要がある。皆様の声を聞きながら、次回の内容を検討していきたい。

写真

事業名		事業テーマ	
シモタカフェ「クリスマス会」		楽しく未来を語ろう	
事業費			
5,000円（事業費の内訳：需用費5,000円）			
事業の概要			
地域マネジャーとシモタカフェメンバーの手作りクリスマス会、だれでも気軽に参加OK			
事業の目的			
みんなで楽しく、高野の未来を語る集いの場			
対象者		参加人数	
地域の住民（年齢は問いません）		45人	
開催期間		実施回数	
12月21日（土曜日）		クリスマス会 1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングはみんなで歌おう（キーボードに合わせてみんなで合唱） ・バイキング料理で食事会（一人一品の持ち寄り） ・サンタさんからお菓子のプレゼント ・全員でプレゼント交換（一人一品の持ち寄り） ・記念写真 			
特徴的な内容			
食事会の料理、デザートすべてが手作りで持ち寄りのため、メニューが豊富で、楽しみにする参加者が多い。また、参加者は同世代の親子が多く話し相手、相談相手が多く、リフレッシュできる集いの場となっている。			
成果・課題等			
大勢で体験するクリスマス会は、皆さん経験がなく、内容も豊富で記憶に残る集いの場となっている。毎回参加者数も増えているため未永く継続していきたい。			
写真			
			
			
			

事業名	事業テーマ
比和まるごと家族 比和地域の支え合いづくりの集い	持続可能な地域づくりに向けて 子どもたちの提案から大人が学ぶ

事業費

55,000円（事業費の内訳：報償費・旅費 55,000円）

事業の概要

持続可能な地域づくりに向けた地域資源を活用したアイデアなどの発表と講師による提案

事業の目的

- ・大人から子ども、子どもから大人など互いに学び合う場を設ける。（意見交換会）
- ・持続可能な地域づくりに向けての小中学生の発表をとおして地域資源（地域の宝）の活用について大人の意識変革を促す。
- ・提案を形にするための活動を振興区・自治会及び有志で行い地域活性化に向けた活動の輪を広げる。

対象者

子どもから大人まで（全地域住民）

参加人数

延 100人

開催期間

3月13日（木曜日）

実施回数

1回 ・準備期間通年

事業の内容

持続可能な地域づくりに向けた地域資源を活用したアイデアなどの発表と講師による提案

- ・小中学校の郷土学習のまとめとして地域活性化のアイデアを小中学生が発表
- ・高校生や大学生の地域活性化に向けた考えや夢、ボランティア活動など具体的な取り組みの紹介
- ・地域住民による子どもたちのアイデアを取り入れた活動紹介と今後の展開について紹介
- ・大学教授による子どもたちのアイデアを取り入れた持続可能な地域づくりについての提案

特徴的な内容

- ・3者共催行事（比和自治振興区、庄原社協比和地域センター、庄原市役所比和支所）
- ・子どもから大人まで幅広い発表
- ・小中学生の発表内容は地域住民が指導者となって行なっている郷土学習で学んだ内容から、大人から学んだことをもとに地域の活性化の視点で大人に提案する内容となっている。大人の学びの場になることを意識している。

成果・課題等

- ・一貫したテーマで8年継続しているため、以前の提案内容や取り組みが新しい活動へと発展している。
- ・参加者は小中学生の発表に感動し元気をもたらしている。また、その他の発表や提案についても真剣に受け止め比和の課題解決に向けて前向きに考えている人が増えている。
- ・子どもの提案から体験活動を実施するようになった。年に4・5回振興区主体で実施できるが、スタッフ不足から観光客を対象としたいつでも実施できる体制づくりができていない。
- ・以前から行っていた民泊は、受け入れ者の超高齢化が進み、これまで活躍していた人たちが引退し、後継者もいないことから少人数の受け入れしかできなくなっている。

写真

事業名		事業テーマ	
伝統食伝承教室		世代間交流	
事業費			
7,098 円（事業費の内訳：消耗品費 7,098 円）			
事業の概要			
・世代間で、かしわ餅やこんにゃくなど地域に伝わる伝統食を作り交流を図る			
事業の目的			
・地域の伝統食づくりを通じ、世代間の交流を深めるとともに、次代に継承する			
対象者		参加人数	
町内外の希望者		45 人	
開催期間		実施回数	
6月9日（日曜日）、3月8日（土曜日）		2回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・もち米の粉、あんこ、サルトリイバラの葉を使い、地域に伝わる「かしわ餅」を作る（6月9日） ・コンニャク芋（在来種）からこんにゃくを作る（3月8日） 			
特徴的な内容			
・地域の高齢者から作り方を教わり、子どもから大人まで世代間交流しながら伝統食を作り、試食をしながら交流を深める			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統食づくりを通じ、世代間の交流が盛んになった ・地域に伝わる伝統食づくりを引き続き実施していく ・総領地域以外からも参加があり、また参加したいという声があった 			
写真			
			
			

連絡先一覧

地域	自治振興区名	拠点施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原市庄原自治振興区	庄原自治振興センター	727-0013	庄原市西本町 2-17-15	72-3777 (3002)	shobara-ziti @peace.ocn.ne.jp
	庄原市高自治振興区	高自治振興センター	729-5811	庄原市高町 821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss @gmail.com
	庄原市本村自治振興区	本村自治振興センター	727-0623	庄原市本村町 1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi @gmail.com
	庄原市峰田自治振興区	峰田自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町 1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi @outlook.jp
	敷信自治振興区	敷信自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町 203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi @gmail.com
	庄原市東自治振興区	東自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町 11-2	72-2854 (3090)	higashi722854 @gmail.com
	庄原市山内自治振興区	山内自治振興センター	729-6131	庄原市山内町 813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi @gmail.com
	庄原市北自治振興区	北自治振興センター	727-0203	庄原市川北町 154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss @gmail.com
西城	西城自治振興区	西城自治振興センター	729-5722	庄原市西城町 大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi @gmail.com
	八銚自治振興区	八銚自治振興センター	729-5601	庄原市西城町 小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi @u-broad.jp
東城	東城自治振興区	東城自治振興センター	729-5121	庄原市東城町 川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo @aioros.ocn.ne.jp
	小奴可の里自治振興区	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町 内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka @vesta.ocn.ne.jp
	八幡自治振興区	八幡自治振興センター	729-5456	庄原市東城町 森2668-2	4-0205 (3320)	yawata @vesta.ocn.ne.jp
	田森自治振興区	田森自治振興センター	729-5127	庄原市東城町 栗田1715-1	2-0661 (3330)	tamori @vesta.ocn.ne.jp
	帝釈自治振興区	帝釈自治振興センター	729-5244	庄原市東城町 帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku @vesta.ocn.ne.jp
	久代自治振興区	久代自治振興センター	729-5122	庄原市東城町 久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro @vesta.ocn.ne.jp
	新坂自治振興区	新坂自治振興センター	729-5132	庄原市東城町 三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka @vesta.ocn.ne.jp
口和	口和自治振興区	口和自治振興センター	728-0502	庄原市口和町 向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi @gmail.com
高野	庄原市上高自治振興区	上高自治振興センター	727-0402	庄原市高野町 新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi @gmail.com
	庄原市下高自治振興区	下高自治振興センター	727-0423	庄原市高野町 下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8 @gmail.com
比和	庄原市比和自治振興区	比和自治振興センター	727-0301	庄原市比和町 比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi @gmail.com
総領	庄原市総領自治振興区	総領自治振興センター	729-3703	庄原市総領町 下領家278	88-3067 (3502)	info @souryou-jichi.net

市外局番 0824 (東城地域 08477)

生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～ (令和6年度事業)

令和8年3月発行



庄原市教育委員会 教育部生涯学習課生涯学習係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogaigakusyu@city.shobara.lg.jp